住まい活動助成

茶山台団地DIYサポーターズ

大阪府堺市

公社賃貸住宅の空き室を活用した住まいのDIYサポート活動による団地コミュニティづくり

2021年11月14日、茶山台団地内の公園で開催したイベントの模様

活動エリア

団体設立経緯

代表の中島は長年、本業で住宅の長期メンテナンスに携わってきました。その経験を通して、顧客のシニア男性の多くが仕事から離れたことをきっかけに、社会との関わりが薄れ健康を損ねているという事実が気がかりでした。男性に多い趣味や生きがいで、社会貢献やコミュニティに参画できる方法を提供できればという思いが以前からあり、大阪府住宅供給公社茶山台団地内にあるDIY工房「**DIYのいえ**」の運営を助けていただけるシニアを募集したことが始まりです。

活動概要と活動対象範囲

団地住民や近隣地域住民の暮らしと住まいを、DIYで支えていくということをテーマに活動しております。活動時間はDIYのいえのオープン日に準じ、毎週水・土・日曜日の朝10時から夕方5時まで。昔からの日曜大工という趣味を活かしたDIYで、地域の方々の住環境に関しての困りごとを解決します。困りごとの依頼者の喜ばれる姿が、メンバーのやりがいや生きがいにつながっています。

サポート活動対象範囲はDIYのいえ（大阪府堺市南区茶山台2-1-16）を中心に、半径500mほどの範囲としています。

活動に至った理由や背景

高度成長期に建てられた賃貸団地群は老朽化が激しく、居住者の高齢化や単身化が進行しています。行政などもいろいろな面で若年層の流入や施設改善などの取り組みを進めていますが、それぞれ個々の既存課題に関しては、なかなか手が回っていない状態です。

日曜大工や物づくりが好きな方、修理修繕などが得意な方などを集めることで、そういった個々の住民たちの不満を解消できるのではないか、またこのような活動は女性と比べてコミュニティ活動に参加しづらいシニア男性のコミュニティ参加促進になるのではと考え、シニア男性の団地住民を中心とした**茶山台団地DIYサポーターズ**を結成し活動しております。

活動内容と成果

助成対象として選定いただいた際にまず考えたことは、この機会を使って、どうすれば楽しみながらも次年度以降の運営費を生み出す体制を確立できるかということでした。単に運営費を稼ぐ目的だけでなく、地域のためになる活動をしながらも、楽しみながらやりがいを感じられるようにするために、以下の7項目の活動を実施しました。

1．サポーターズの認知度向上

困りごと解決の依頼をいただくにもサポーターズを知っていただかないと話にならないため、広報に力を入れました。具体的にはチラシやポスター、ホームページといった告知物を作成。それに先立ち、メールアドレスとLINEアカウントも獲得しました。すべてのチラシ、ポスター、ホームページにはメールアドレスとLINEアカウントを掲載しています。

チラシは団地内に2カ月に1度配布、ポスターは常にDIYのいえ入口に掲示し、イベント出展などの際はいつも持参し掲示しております。さらにはユニフォームも製作し、活動時は全員着用しています。

2．オープン日の追加

サポーターズが運営をサポートしているDIYのいえのオープン日を、2021年7月から週3日に変更しました。それまでは土日のみでしたが、新たに水曜日も加えました。水曜日にいつも来ていただける団地住民も現れ、オープン日を増やした効果はありました。

3．ワークショップの開催

緊急事態宣言発令などのため、当初の予定通りには開催できませんでしたが、結果として16日間のDIYイベントやセミナーを開催しました。

2021年6月27日　鳥のブローチづくり　対象：主婦層、参加：4名

7月3日　フォトフレームにモザイクタイル貼り　対象:親子連れ、参加:約20名

7月4日　廃材でロボットづくり（駅前イベント出展）　対象：親子連れ、参加：約30名

7月11日　廃材でロボットづくり（駅前イベント出展）　対象：親子連れ、参加：約30名

7月24日　壁紙トレイ・時計づくり　対象：大人中心、参加：6名

8月5日　壁面しっくい塗り・壁の塗

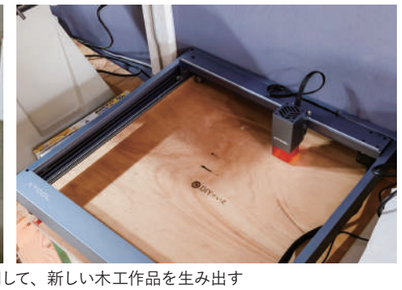
サポーターズのメンバー

団地内の居室、玄関への収納棚設置をDIYでサポート

サポーターズの活動をアピールするポスター。イベント参加時には欠かさず掲示する

体験イベントでは廃材などを活用して、さまざまなものづくりワークショップを提供した

団地外部のイベントにも積極的に参加。ワークショップの実績を重ねると同時に、広報活動にも注力した



助成金で購入した丸ノコ盤やレーザー彫刻機を活用して、新しい木工作品を生み出す

り方セミナー　対象:女性、参加:3名
10月2日・3日　廃材でロボットづくり（駅前イベント出展）　対象：親子連れ、参加：70名
10月17日　竹とんぼ・管人形づくり（公園イベント出展）　対象：親子連れ、参加：40名
11月6日　端材で迷路・香水づくり（茶山台団地内イベント出展）　対象：団地住民中心、参加：30名、共催：大阪府住宅供給公社、茶山台としょかん、やまわけキッチン
11月14日　茶山台団地内公園どかんペイントサポート　対象：団地住民中心、参加：30名、主催：大阪府住宅供給公社
22年1月23日　苔をつかったテラリウム　対象:主婦中心、参加:5名
2月6日　ひな人形づくり　対象:主婦中心、参加：5名
2月19日　茶山台としょかん　本棚づくりイベントサポート　対象：団地住民中心、参加：20名
3月19日・20日　廃材を一部つかったブレスレットづくり　対象：親子連れ、参加：30名

イベント来場者にサポーターズ活動の説明やチラシ配布、ポスター掲示をすることで、サポート活動の認知度向上に努めました。

4. サポート活動受注の増加

認知度を上げる活動と同様になりますが、チラシの配布やポスターの掲示、ワークショップ開催時での告知、サポート活動実績をホームページなどにアップすることなどで、地域住民が地域の方々の困りごとを解消しているという安心感を感じていただき、サポート活動の受注増加につなげていきます。

5. サポーターズがつくった作品の販路構築

日頃からつくっている木工作品は、イベント出展の際にワークショップに併せて販売もしています。さらに魅力があり購入意欲をかきたてる作品をつくっていくために、今回の助成金を活用し、丸ノコ盤、自動カンナ、レーザー彫刻機などを購入しました。

現在、近隣の木工会社のご協力で、定期的に廃材をいただけるようになっています。今回購入した電動工具を使用することで廃材を綺麗に加工し、作品をつくるための資材とすることができるようになりました。SDGsをも意識した活動につなげることができつつあることも、サポーターズのやりがいにつながっています。

自分たちで考えて作品をつくるだけでなく、外部とのコラボレーションにも取り組んでいます。ベーカリー店のブランディングやプロモーションなどの活動でTV出演の実績もある、堺市民の浅香正和さんとの取り組みでは、パンの形をしたカッティングボード（まな板）をつくり、共同で販売する計画を進めています。

他にも店舗内装施工において、DIYサポーターズ製作の什器を納品いたしました。このような販売の経験は、サポーターズの感性を高めることにもつながっています。

近隣で開店準備をしている人などにもアプローチすることで、コラボレーションであったりお店を開くお手伝いであったりと、サポートできることがたくさんある気がしています。地域の中でいろいろなつながりを持つことで、販路の拡大につなげることができるように取り組みを進めています。

6. 出張ワークショップの実施

近隣地域の子育て支援施設や介護施設などへの、出張ワークショップの受付を始めました。材料費別で1万円からと比較的安価に設定、若い親御さん向けのものからシニアの方向けまで、数種類のワークショップを準備しています。現在はコロナ禍のためなかなか先方での開催自体が難しい部分もありますが、今後はニーズがあるのではと考えています。

7. サポーターズの増員

現在男性が4人になり、当初の5人体制から1人欠員しています。その中で週に3日オープンするため、ローテーションがかなり厳しい状況です。

運営することが負担になっては元も子もないので、人員の募集を早期に進めたく活動しています。22年4月の取り組みになりますが、地域包括支援センターからのお誘いがあり、社会福祉協議会などと共に男性のセカンドライフ支援の会合に参加することになりました。そちらで活動紹介をすることで、サポーターズの増員を図ります。

＊　＊　＊

今回助成いただいたことで新たな取り組みに目を向けることもでき、団体の継続を目的とした運営資金づくりの土台を固めることができたと思っています。シニア男性が生きがいを感じ、地域のための活動を楽しみながら運営費も稼ぐという形で、継続できるよう頑張ってまいります。

茶山台団地住民の方々を対象に、認知度確認のアンケートを実施したのですが、まん延防止等重点措置期間と重なり、思ったほどの回収ができませんでした。ただ、今までに配布したチラシよりも、アンケートを持って遊びに来てくださった方が多かったのは思わぬ副産物でした。

課題と解決方策

この1年間もコロナ禍であり、なかなか思い描いた通りには進まないことが多かったですが、それなりに頑張って運営できたと思っています。とはいえ、オープン日を週2日から3日に増やしたタイミングで人員が減ったことはかなり大きな問題であり、現在在籍しているサポーターズにかなりの負担がのしかかっているようにも思えます。

元々の思いとしては、あくまでもシニア男性が楽しみながら地域のために役立つ形でありたいと思いますので、早い時点で少し人員を増やし、楽しみの延長線上に社会貢献がある形にしたいと感じています。

そのためにも地域包括支援センターや社会福祉協議会、その他諸々の地域活動の現場に顔を出し、つながりを拡げていくことで活動内容を認知いただき、新たなメンバーと早く出会えるように頑張ってまいります。

今後の予定

新年度も続けてサポーターズ活動の認知度を高めるために、全員で楽しみながら地域のために活動を続けていきたいです。

現在は大阪府住宅供給公社のご厚意により、DIYのいえの家賃が免除されていることで活動が成立しています。この取り組みを広げていくためにも、サポート活動で運営費を稼ぎ、多少の人件費と家賃分を負担できるぐらいのところまでもっていければと思っています。

茶山台団地DIYサポーターズ

2020年11月設立／メンバー数：8人／代表者：中島 久仁（なかじま・ひさひと）
●〒590-0115　大阪府堺市南区茶山台2-1-16-101
☎072-237-8181　FAX072-234-3648　✉info@diy-chayamadai.com
diy-chayamadai.com

団地住民の暮らしと住まいをDIYで支えていくことをテーマに、活動しています。